

移り行く二本松 過去から現在



▲昭和42(1967)年の二本松駅前通り



▲以前の二本松駅



▲今も昔も大勢の市民に利用されています



▲昭和35(1960)年頃の二本松駅前盆踊り



▲安達駅を出発する
塩沢温泉へ向かうバス

7月28日、29日の両日運行され、市内を走り抜けた「SLが活躍していた時代から半世紀、二本松市はさまざまな変貌を遂げてきました。」

昭和35(1960)年の人口等

二本松市	75,634人
(男36,098人：女39,536人)	
世帯数	13,175世帯
1世帯当たりの人数	5.7人

福島県	2,051,137人

全国	93,418,501人

SLが活躍していた昭和の時代、当時の二本松を駅周辺の写真で振り返ってみましょう。

六角川改修や市民交流センターの建設などが行われ、二本松駅前には現在のような姿になっていきます。
SLから電車へ変わっても、通勤・通学などの市民の欠かせない足として東北本線・二本松・安達・杉田駅は多くの皆さんに利用されています。



▲右の写真とほぼ同じ場所から撮影した現在の二本松駅前通り



◀平成21年にオープンした市民交流センター



▲現在の二本松駅



▲金色陸橋から望む二本松駅周辺



▲生まれ変わった六角川

東北本線
二本松駅・安達駅・杉田駅
の歴史

明治20(1887)年

東北本線 郡山～塩竈間
が開通。

これに伴い二本松駅が開業。
大正6(1917)年

安達駅が開業。

昭和23(1948)年

杉田駅が開業。

それまでは杉田信号所(大正6年開設)であった。
昭和35(1960)年

白河～福島間が交流電化。

これに伴いSLの運行本数は減少していきました。

昭和39(1964)年

杉田～安達間が複線化。

昭和51(1976)年

二本松駅が現在の駅舎となる。

平成23(2011)年

3月11日、東北地方太平洋沖地震発生により東北本線全線にわたり不通。

4月10日、本宮～福島間が開通再開。

平成24(2012)年

7月28日・29日
SLふくしま復興号運行。

そして未来へ

2・3ページで紹介してきたように、さまざまな変化を遂げ、現在の二本松市があります。

今、震災や原発事故からの影響に依然として不安を拭い切れない状況ですが、抱えている問題はそれだけではありません。少子高齢化や環境問題、エネルギーの問題など課題は山積みです。

壁はたくさんありますが、それらの課題に関心を持ち、乗り越え、今の子どもたちやこれから生まれてくる子どもたちが笑顔で暮らせる二本松市を築き上げていきましょう。



次代を担う子どもたちが描く「これからの二本松」

子どもも大人も笑顔で暮らる町になったらいい
バリアフリーでお年寄りも住みやすい町になって欲しい

市全体がIT化されて欲しい
災害なども未然に防げるようになると思います

ヨーロッパのサッカースタジアムのような大きなスタジアムができるといい
クラブチームもできて観光客が増えるといい

子どもとおじいちゃん、おばあちゃんが一緒に遊べるといい
そんな場所をつくってください

笑顔で生活できる二本松
僕も笑って生活するようになっています
スカイツリーのようなシンボルがあったらいいな

地震予知ができるような科学都市になって欲しい
でも、植物などの緑はなくさずに残しておく



蒸気機関車のように力強く、
未来に向かって走り続けよう
輝く未来を築くのは

私たち一人一人の力です